

文化芸術意識調査実施要領

1 手法

札幌市に住民登録を行っている 15 歳以上の市民から無作為抽出した 5,000 人を対象にした郵送アンケート。回収方法は同封した返信用封筒を用いて返信させるものとする。

2 想定回収件数

1,500 件程度（約 30%の返送を見込む）

※想定回収件数は過去の実績に基づく見込みであり、増減する可能性あり。回収件数に著しい増減があった場合にも原則として契約金額の変更は行わない。

3 調査手順詳細

- (1) 委託者が協力依頼文原稿（A 4・1 枚片面を予定）及び調査票原稿（A 4・8 ページ、28 項目程度を予定）を作成し、1 月下旬頃、ワード及び P D F 形式で引渡す（別添サンプル原稿参照）。上質紙 55kg 以上又は再生上質紙 55kg 以上を使用して必要部数を印刷すること。
- (2) 発送用封筒及び返信用封筒を作成すること。返信用封筒のあて先は受託者とする。
- (3) 発送者宛名ラベルは、委託者が 5,000 人各 1 部を作成して受託者に引渡す。発送用封筒に貼付し、協力依頼文、調査票及び返信用封筒を同封の上、2 月中旬を目処に発送すること。
- (4) 発送・返信に係る経費については、受託者の負担とする。
- (5) アンケート発送から返信期限までの期間として、最低 2 週間は確保すること。
- (6) 紙の調査票への記入・郵送による返信以外に、対象者が多様な方法で回答・返信できるように、下記対応も行うこと。
 - ・スマートフォンや P C 等で回答可能な web フォームの作成・設置
 - ・P C 上で閲覧・回答し、メール等に添付して返信可能なファイルの作成と、これらを掲載できる web ページの作成（サーバー等は受託者にて用意）
 - ・紙の調査票と P C 等による回答が重複しないよう、web ページにも注意書きを記載すること（調査票末尾の記載内容を参照）。
- (7) アンケートの取りまとめは、エクセル等を用いたものを想定。具体的な集計方法については、前年度までの集計結果を参照し、クロス集計・グラフ集計などを行うとともに、図・表の使用など市民の方がわかりやすい集計結果の作成を行うこと。なお、現状や課題の分析については要しない。
- (8) 報告書については、前年度を参照して作成すること。
- (9) 回収後のアンケートは、業務完了報告時に委託者へ提出すること。